

学校名 大定 学校

5年 3組

名前 川山奇 佑太

「立体図を見て感じたこと」

ぼくが立体図を見て感じたことは、こまかい山のたんざとかを、こまかくあらわしていることです。

それぞれの景とかの形とかも、くっきり、きっちりしていたので見やすかったし、きれいにできてたので、よかったです。

3D Xがネをうけなかつた時は、どのように見えるのかなと思いました。たけとさき言ったとおり、3D Xがネをつけるよ、3D Xがネをつけない時より、きれいに見えて、赤い色とかの山が、こまかい形をしているんだなとか思いました。

立体図は、いまではきれいに、くっきりきっちり見えるようになって、いるんだなあと感じました。

九州とかを、けこうでかく、かくなんで、すごく、すごいなと思いました。立体図を見ると、宇崎とかの山は、けこう多いんだなと思いました。

立体図って、すごいなあと思いました。

ミューズとかでは、平らに見えらるけど、実さい、立体図は、今まで、しらない、山とかの大きさ、山の数、そして、平らな、平地などが、くっきり見える立体図は、くわしいことまで、のっているなんて、すごいなと思いました。山の高さも、それぞれに高いのと低いのがあって、すごいなと思いました。立体図って、本当に、すごいなあと思いました。